

新潟県聴覚障害者地震対策本部ニュース NO. 3

平成16年11月22日発行

聴覚障害者地震対策本部の主な動き

- 11月12日 朝日新聞厚生文化事業団よりパソコン4台寄贈。
十日町地区に2回目の視察決定。行動隊メンバー調整。
- 11月14日 十日町地区現地視察。避難所「グリーンピア津南」に『光るチャイム』取り付け。
「ろうあ村長横尾義智氏をしのぶ会」代表 小平邦幸氏来所される。
- 11月17日 対策本部幹事会。(議題) 安否確認については完了。『地震復興支援本部』に向けての組織見直し。今後は具体的な支援・相談・心のケアなども含め活動していく方針。
17日十日町市に県より手話通訳派遣開始。
- 11月18日 被災者宅に『アイドラゴン』設置七台目。
- 11月19日 県障害福祉課へ本部でまとめた安否データを元に、要支援の方々への再調査を現地派遣通訳者に回ってもらうよう依頼。
- 11月20日 第2回幹事会の案内送付。各現地对策本部代表へ『安否データ』の送付。要支援の方々を中心に「こころのケア」など配慮の依頼。

被災者の安否確認

11月15日現在

	総 数	避難所等	自 宅
小 千 谷	26人	6人	20人
十 日 町	23人	4人	19人
長 岡	140人	2人	138人

～ 世界からのメッセージ ～

ベルーズ・モバシエリ イランろう協会会長

日本で起きた地震のことを知りました。テレビで被害を受けた地域のひどい状況を見ました。

我々は常に皆様と心がひとつであり、この苦難に際しても、心よりお励ましとお見舞い申し上げます。

～小椋武夫 財団法人全日本ろうあ連盟アジア太平洋事務局長を通じて～

安藤豊喜 財団法人全日本ろうあ連盟理事長

中越地震で被害に遭われた皆さんに心からお見舞い申し上げます。また、地震対策本部の皆さんやボランティアの皆さんの活動に感謝申し上げます。全日本ろうあ連盟は、今、全通研や通訳士協会と連携して全国的な支援金募集を実施するための作業に入っています。全国のろう者、手話関係者等の皆様への思いがもう直ぐ皆様のもとに届くと思います。私たちは大きな災害にめげず復興に立ち上がっている皆様から大きな感動と元気をいただいています。災害現場で苦闘されている皆様の気持ちを励まし、一日も早くもとの生活に戻られるよう支えていくのが私たちの願いです。どうぞ希望を失わずお元気でお過ごし下さい。

鳥取県ろうあ団体連合会

大きな地震が発生し、驚きと共に安否について大変心配しております。大変ですが、復旧のため頑張ってください。これから寒くなりますので、身体には気をつけて下さい。

北信越ろうあ連盟

被災された皆様に対しまして、北野連盟長をはじめ連盟役員一同、心よりお見舞い申し上げます。会員の皆さんの状況把握で大変であろうと拝察いたします。

富山県ろうあ福祉協会

中越地震、心よりお見舞い申し上げます。富山でも震度3が続き、不安に思いましたが、そのあと新潟の震災状況をはらはらしながら見守っています。北信越の仲間たちが新潟の仲間たちを心配しています。

社団法人福島県聴覚障害者協会

震災の大きさに驚いています。被災地の皆さんの不安を私共も心配しています。

大阪市女子バレーO.D.V.C一同

地震に負けずに頑張ってください。少しですが、何かの役に立てたら嬉しいです。(義援金)

日本手話通訳士協会

この度の地震での被害、テレビで拝見するにつけ大変胸を痛めております。聴覚障害の皆様また関係者の皆様方のご苦勞も計り知れません。

(お詫び) 紙面の都合により割愛して掲載しています。誠に申し訳ありません。

ろうあ被災者、その時！

1 17時56分地震発生時、どこにいましたか？

夕飯の準備で台所に。/ 3階の自分の部屋に。/ 会社の5階。 / 自宅するなど / 車で帰宅途中。

2 避難先は前から知っていましたか？

集落で避難所の話はなかったが、発生後は近くの公園が避難場所になる情報あり。

知ってはいたが、小学校か中学校かどっちか？迷う。/ 家族が近接する消防署の放送を聞いて避難所へ。/ 前々から知っていた。/ 知っていました。/ 自宅(地震直後) 近くのスーパーの駐車場で避難 指定避難場所で一晩。

3 避難所で困ったこと等ありましたか？

情報・連絡事項などが入らなくて、全く状況がつかめなかった。/ 中学校体育館に避難していたの

ですが、消灯時間（午後九時）が早いし、寝ても人が歩く足音、響きで眠れず。／情報交換などの話し相手がいない。／自宅にとどまったが、電気不通でファックス連絡出来ず。／携帯電話も充電できず通話不能に。／自宅に居たので困った事がない。／ライフラインに困らなかった。詳しいことはテレビで知りました。

4 家宅の損壊状況。

壁が剥がれ落ち、床も損壊。／廊下の戸がはずれ、ガラスが割れる。大型テレビが落下して故障。台所のドアが開かない。／多数の食器が落下して割れる。風呂場のタイルが剥がれ落ち、亀裂。壁にひび多数。／壁に少々ひび発生。／皿、食器が落下し割れる。／「半壊」の状況です。

5 どうしても必要と思ったのは？

地震発生時、携帯電話を家においたまま外へ逃げ、避難所で携帯電話連絡できず非常に困った。避難所に手話通訳者が本当に必要だと思った。／避難所に太洋紙か何かで文面による連絡欄を掲示して欲しかった。／やっぱり携帯。作業服で仕事しており、避難時は社内に携帯を置いたまま。／通訳者は2名でなく、少なくとも5名は派遣して欲しかった。／携帯が必要。／安否情報等のIT化を急ぐべき。テレビ電話・代理電話の普及も。民放TVに手話通訳の挿入化が必要。新聞テレビにも「ろうあ者の為の情報」を載せてほしい。

6 通訳者の対応について

住宅被害調査時に通訳者がいてくれて助かった。／家の片付け、避難生活に疲れたので実家に戻り、通訳者には会わず／対応してなかった。／利用したことがないのでコメントできない。

7 震災後、直ちに「新潟県聴覚障害者地震対策本部」が設置されたのをご存知ですか？何で知りましたか？

本部からのファックス連絡で知った。／知らなかったです。停電してテレビもなく、携帯もバッテリー切れて使えず。／知らなかった。後で知りました。／「ろうあ新潟」で知った。TV、新聞などに早く載せるべき。

8 その他

早く余震が治まり、元の生活に戻れると良いなあと毎日祈っています／地震発生後、夜が本当に怖くなりました。／10/23の翌日から宮城県会社プラスボイスからいろいろな情報を得ていた。／非常事態が起こった時に、電話(FAX)が混線しやすい。効率の悪い方法(一枚ずつ送る)を避けるべき。ワンクリックで送れる体制を整備していく必要がある。停電になると(FAX・TV)役に立たない。よって情報が限られる(特に高齢者は困るでしょう)。「見えるラジオ」の普及も大切。停電になっても送れるFAXの開発も大切。

*本部の取材に快く応じて下さり、本当にありがとうございました。

*本部がある新潟地区も3から4程度の余震が何回も続き、「揺れているのか」いや「揺れていない。錯覚なのか」の感覚が麻痺しているろうあ者が多数います。ニュース班の私たちもそうです。ろうあ者は聴覚障害に関連して平衡感覚が劣っているためでしょうか？

災害救助法が適用になった地域

下記の市町村に災害救助法が適用となりました。

災害救助法の適用となった地域にはさまざまな支援制度があります。

<適用年月日> 平成16年10月23日

<災害救助法の適用となっている市町村>

小千谷市、長岡市、十日町市、栃尾市、南魚沼市(旧六日町、旧大和町)、魚沼市(旧堀之内町、旧小出町、旧湯之谷村、旧広神村、旧守門村、旧入広瀬村)、安塚町、中里村、柏崎市、見附市、中之島町、越路町、三島町、与板町、和島村、出雲崎町、山古志村、川口町、塩沢町、川西町、小国町、西山町、津南町、刈羽村。

住宅に多大な被害を受けられた方々のために

住宅に多大な被害を受けられた方々に、さまざまな支援制度があります。

各市町村役場で制度の説明会、相談窓口の開設をしていますので、これからの生活のために、制度を活用しましょう。

詳しくは、各市町村役場のホームページ、広報などをご覧ください。

<主な制度> 市町村にない制度もありますのでご注意ください

- ・住宅応急修理制度 … 日常生活に必要欠くことのできない部分を応急に修理する制度
- ・生活再建支援制度 … 被災住宅の解体撤去や生活必需品の購入、修理などにかかる費用を補助する制度
- ・公営住宅や仮設住宅への入居
- ・県立高校授業料の免除

さまざまな支援制度の相談や手続きに…手話通訳を

さまざまな支援制度の相談や手続きに手話通訳を利用して、制度を良く知り、手続きをしましょう。

手話通訳が必要な方は、住んでいる所の手話通訳者の設置や派遣制度をご利用ください。

<長岡市> ・長岡市が手話通訳者を設置しています。

長岡市役所 福祉相談課 9:30～16:30

<小千谷市> ・新潟県から手話通訳者が派遣されています。

小千谷市役所 健康福祉課 10:00～16:00

<十日町市> ・十日町市から市の手話奉仕員が派遣されています。

・新潟県から手話通訳者が派遣されています。

障害者地域生活支援センター「あおぞら」 月～土 10:00～16:00

十日町市役所 健康福祉課 日・祝祭日 10:00～16:00

<魚沼地区> ・県から手話通訳者及び手話奉仕員がされ、障害者手帳台帳をもとに、

被災聴覚障害者の把握のための調査を行っています。

魚沼市(旧湯之谷村)の障害児者生活支援センター「かけはし」

土日のみ 10:00～16:00

住んでいる地域に、手話通訳者の設置や派遣制度がない方でお困りの方は・・・
新潟県聴覚障害者地震対策本部へご相談ください。

全国からの **ほっと** なメッセージをお待ちしています。

100字以内で、FAX かメールでお寄せください。

所属団体名、氏名、メッセージを紹介します。(匿名可)

FAX 025-381-4699

E-mail niigata-roukyou@helen.ocn.ne.jp



無惨な全壊状況(小千谷市)



1メートルも出てきたマンホール



安否確認に対応する県聴障協地震対策本部の理事たち



小千谷市総合体育館で避難する被災者たち

新潟県聴覚障害者地震対策本部

電話025-381-1956

FAX025-381-4699

E-mail niigata-roukyou@helen.ocn.ne.jp